

2.七ヶ浜町居住意向調査 集計結果報告[確定版]

□調査の趣旨及び概要

津波被害にあわれた全世帯を対象に、今後の居住に関する意向を確認するため、戸別訪問による調査を実施

※対象世帯は、罹災証明ベースの津波の被害に関わらず、敷地内に浸水したと思われる世帯すべてを対象(個々の聞き取りにより判断)

□該当件数及び集計件数

該当件数配布数	1,254 通
回収数	1,026 通
回収率	81.8%

□調査結果概要

- [1-1]被災(津波が浸水)世帯数は、菖蒲田浜地区が 340 世帯、花湊浜地区が 185 世帯、代ヶ崎浜地区が 156 世帯の順となっている。
- [1-2]現在の住まいは、仮設住宅が約 36%となっている。
- [2]被災前の居住形態は、持ち家が約 94%となっている。
- [3]被災状況は、大規模半壊以上が約 73%、半壊及び一部損壊が約 14%、床上・床下浸水が約 9%であった。
- [問 1]今後の住まいの場所について、現在の場所に再建したいが約 47%、町内の転居を希望するが約 39%、町外の転居を希望するが約 6%であった。
- [問 2]自宅の再建について、経済的に可能であるが約 58%、経済的に不可能であるが約 37%であった。

[復興パターンの振り分け結果]

- | | |
|--------------------------|-------|
| ● [A]原位置希望で自己再建可能 | 27.3% |
| ● [B]権利を有する土地に転居(調整区域) | 1.8% |
| ● [C]土地の権利は無いが安全な場所に転居 | 20.4% |
| ● [D]自己再建困難 | 29.4% |
| ● [E] 権利を有する土地に転居(市街化区域) | 2.3% |
| ● [F]町外に転出 | 6.0% |